



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	月刊DRF 第19号
Author(s)	デジタルリポジトリ連合; Digital Repository Federation
Description	事務局: 北海道大学附属図書館 http://drf.lib.hokudai.ac.jp/ で公開したもの
Issue Date	2011-08-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/73504
Type	journal
File Information	DRFmonthly_19.pdf



月刊 DRF

Digital Repository Federation Monthly

第19号

No. 19 Aug, 2011

【特集1】機関リポジトリ担当者研修がはじまります！

【特集2】コンテンツ可視性向上計画



年度からDRFの新しい研修がスタートします。

これまで、DRFでは、地域ワークショップや技術ワークショップなどの中に担当者研修のコマを盛り込んできましたが、今年度より、新任担当者研修と中堅担当者研修の2つの柱をもうけ、体系的・継続的な研修スタイルに変更しました。

本特集では、この2つの研修について、プログラムやおすすめポイントを詳しく紹介します。



新任担当者研修

この研修は、これまで国立情報学研究所主催で開催されていた「学術ポータル担当者研修」の内容変更に伴い、同研修の後継として、その内容をぎゅーっとコンパクトにしたプログラムで行います。

オープンアクセスや機関リポジトリの基本的な知識と、機関リポジトリの構築に必要な準備、コンテンツ収集や広報、著作権実習、登録実習などの実際の業務内容をひととおり学ぶことができます。また、グループ討議では、研究者に対して投稿を依頼する説明会の実践練習を行います。

何事も基礎を知ることが上達への早道です。この1日半の研修で基礎をみっちり身につけて、オープンアクセスと機関リポジトリの世界へ飛び出しましょう。

本研修は、国立情報学研究所との共催で、東日本・西日本で各1回ずつ行い、講習修了者には修了証書を発行します。

- | | |
|-------|----------------------|
| プログラム | ・オープンアクセスと機関リポジトリの概要 |
| | ・機関リポジトリの構築 |
| | ・広報・コンテンツ収集 |
| | ・優良事例の紹介・模擬プレゼン |
| | ・著作権概論・実習 |
| | ・メタデータ概論 |
| | ・コンテンツ登録実習 |
| | ・機関リポジトリの公開 |
| | ・グループ討議・発表 |

日程	2011年9月8-9日 広島大学図書館
	2011年10月6-7日 国立情報学研究所

申込	広島会場：受付は終了しました。
	NII会場： http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?training%2Fbeginner_2011_2 から申し込み下さい。(8月2日から)

講師からのおすすめポイント

著作権について、先生に聞かれそうなこと、出版社サイトの見方について、SHERPA/ROMEやSCPJの利用など、実際に役立つポイントをお伝えしたいと思います。

●神戸大学・末田さん
(NII会場)



登録コンテンツを広く利用してもらうため、自機関にとって最適なメタデータを検討するための基礎をやりわりしっかりお伝えします。

●山口大学・深川さん
(広島会場)

特集 01

機関リポジトリ担当者研修がはじまります！



中堅担当者研修

無料公開の雑誌というのが出てきてるけど、そういうのってほんとどこどうなの。インパクトファクターとかさ



……うーん、どうなんでしょうねえ

研究室に何っての先生方との対話の中で、説明会の席上で、ふつと応答につまってしまった経験はありませんか。背景知識や、周辺事情についてのウンチクがもっと豊かなら、もっと的確に、立体的に、多角的に、会話を弾ませることができるといい。

機関リポジトリ担当者のこんな悩みを解決すべく、中堅担当者研修を企画しました。

本研修は、機関リポジトリだけでなく、現代の学術コミュニケーションに関する課題や背景となる知識を掘り下げて学ぶことができる、今までにない新しいテーマの研修です。機関リポジトリの周辺に広がる学術コミュニケーション全体の問題に目を向けて、現在、そして今後の課題にどのように対処していくのかを考え、実践することを目指します。

おそらく、この研修はとてもハードです。しかし、修了後の貴方は、自分の視野が広がったことを実感し、この行き詰まった学術情報コミュニケーションの世界を何とかしなければならぬと立ち上がることでしょう。この機会を逃さないでください！

本研修は、国立情報学研究所との共催(予定)で、講習修了者には修了証書を発行します。

- | | |
|-------|-------------------------|
| プログラム | ・学術情報流通史 |
| | ・雑誌価格問題への抵抗史 |
| | ・オープンアクセスジャーナルの動向 |
| | ・班討議「学術コミュニケーションの最新動向」 |
| | ・国内学会出版の現状と将来 |
| | ・海外出版社のオープンアクセス戦略 |
| | ・班討議「学術コミュニケーションの諸課題」 |
| | ・機関リポジトリを支える技術基盤 |
| | ・機関リポジトリのコンテンツ増進戦略 |
| | ・班討議「機関リポジトリのコンテンツ増進戦略」 |

日程	2011年10月20-21日 九州大学附属図書館
----	--------------------------

申込	http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?training%2Fsenior_2011 から申し込み下さい。(8月上旬～中旬に開始予定)
----	--

おすすめポイント



「おそらくとてもハード」とオソロシげな紹介がされていますが、企画サイドもはじめてのプログラムでときどきです。NII学術ポータル担当者研修(平成18～22年度)同窓生のみなさんほか、機関リポジトリ実務に携わってこられた方、ぜひ気軽にご参加ください！



機関リポジトリを一部を含む学術情報流通をどう捉えるのか、より広い視点を得られるよう講師も「ハード」に努力します。柔らかな面白企画も考えてますので、楽しみつつ、いろんなことを一緒に考えてみませんか？

コンテンツ 可視性 向上計画



機関リポジトリは、ただコンテンツを登録すればいいわけではありません。そのコンテンツを多くの人に見てもらい、読んでもらい、使ってもらうことで初めてその役目を果たします。

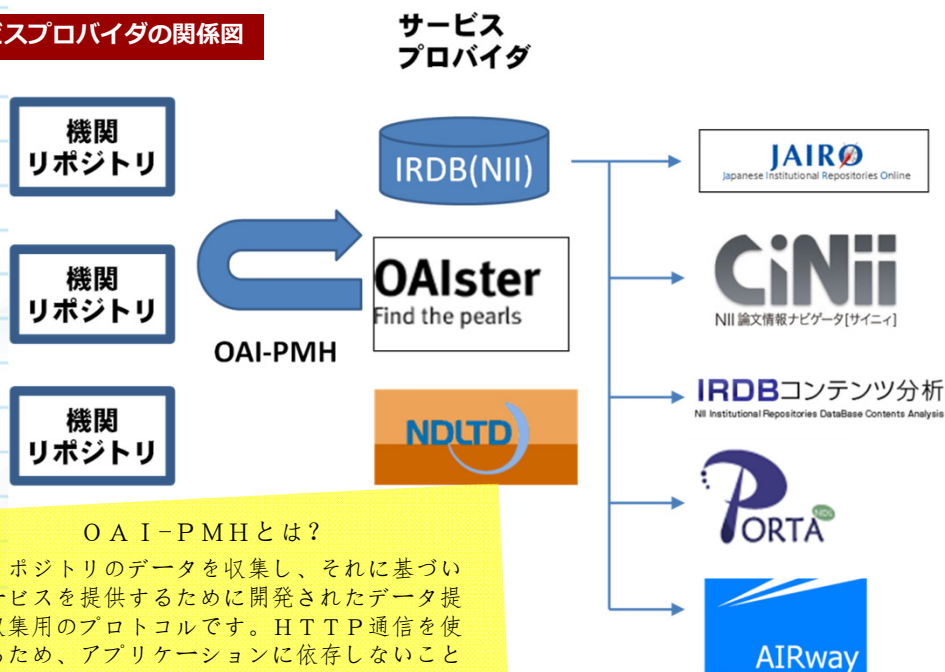
それでは、機関リポジトリにあるコンテンツは、どのようにしたらより多くの人に見てもらえるのでしょうか？基本から応用まで、コンテンツの可視性を向上させる方法について紹介します。

機関リポジトリとハーベスティング

機 関リポジトリに登録されているメタデータ（文献データ）は、他のサービスが勝手に取っていつて、サービスしてくれます。これをハーベスティングといい、この仕組みがあるおかげで、機関リポジトリのコンテンツは、利用者にわざわざ探しに来てもらわなくても、様々なサービスサイトで検索され、利用してもらうことができます。

ハーベスティングは、OAI-PMHを使って異なる機関リポジトリから同じ方法でメタデータを収集できるため、JAIROのように複数の機関リポジトリのコンテンツを一括して検索するサービスも可能になります。

IRとサービスプロバイダの関係図



OAI-PMHとは？

複数リポジトリのデータを収集し、それに基づいたサービスを提供するために開発されたデータ提供・収集用のプロトコルです。HTTP通信を使用するため、アプリケーションに依存しないことが特徴です。

Start!

LEVEL 1

必ずやろう

OAIデータプロバイダリスト (Open Archives Initiative)

あまり知られていないかも知れませんが、機関リポジトリを立ち上げたらまず登録すべきサイトです。ここに登録することで、一人前の機関リポジトリ（データプロバイダ）として認められ、世界中のサービスプロバイダがメタデータを収集してくれます。

登録方法

OAIデータプロバイダリストの登録ページに自機関のリポジトリのbaseURLを入力して送信する。同時に、ハーベストのチェックもしてくれます。

参考URL : <http://www.openarchives.org/data/registerasprovider.html>

Note: at this time a repository may only register one name/generic identifier

Confirmation of Registration

Shortly after registration you will receive an email showing the results of the [confirmation testing](#) and if a

Changing Registration Information

In order to change your registration information you should simply re-register. Some instances in which:

- change of administrative e-mail address
- adoption of the [OAI identifier scheme](#)

Note: a repository may not change its name/generic identifier

Registering Your OAI-PMH 2.0 Repository

If you haven't read this page carefully, please go back and do so. If you are ready to register then enter [confirmation details](#).

Ⓢ Validate only (may register later) Ⓜ Register this site

Please enter repository's base URL:



IRDB(NII)

JAIRO、IRDBコンテンツ分析、Ci NiiといったNIIが提供する各種のサービスで機関リポジトリのメタデータが活用されるほか、国立国会図書館のPORTALやリンクリゾルバから機関リポジトリ登録文献へのリンクを提供するAIRwayなどにもデータが提供されます。特に、CiNiiは研究者にとって日本語文献を検索する重要なツールのため、CiNiiとの連携は必須です。



登録方法

「国立情報学研究所 学術機関リポジトリデータベース収集方針」に基づいて「学術機関リポジトリデータベースへのデータ提供（申込書）」を提出する。

CiNiiと連携する場合は、通信欄に「CiNii連携希望」と記入する。
参考URL : http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/irdb_harvest.html

Google

英語圏では「google」（検索エンジン）という言葉が、日本では「ググる」（Googleで検索する）という言葉が生まれたほど、おなじみの検索エンジンです。「Googleでヒットします」を研究者への売り文句にしている機関リポジトリも多くあります。ただ、場合によっては検索結果に表示されなくなることもあるので、ガイドラインを守り、時々では自分たちで確認することも必要です。



登録方法

サイトマップを作成し、Googleウェブマスターツールから機関リポジトリのサイトを登録する。

参考URL : <https://www.google.com/webmasters/tools/>

Google Scholar

学術雑誌論文や会議録などの学術資料のみを検索対象とした検索エンジンです。「学術情報の取得動向と電子ジャーナルの利用度に関する調査」では、研究者が「よく使う二次情報サービス」の3位となっており、幅広い分野の研究者によく使われている検索ツールです。



登録方法

1. 機関リポジトリのトップページからHTMLのリンクをたどって、すべてのコンテンツにアクセスできるようにする。
 2. Googleからのクロールを拒否しないようにきちんとしたrobots.txtを書く。
 3. アイテムページのHTMLヘッダーのmetaタグにメタデータを記述する。
 4. Google Scholarにインデクシング依頼をする。
- 参考URL : <http://scholar.google.com/intl/en/scholar/publishers.html#faq1>
: <http://goo.gl/aX03i>

OAIster

OCLCが運用する世界中のリポジトリのコンテンツを一括検索できるサイトです。登録すると世界最大の図書館総合目録であるWorldCatからも検索が可能となります。



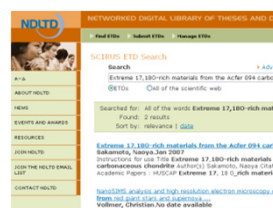
登録方法

WorldCat Digital Collection Gatewayから登録を行う。

参考URL : <http://www.oclc.org/gateway/gettingstarted/default.htm>

NDLTD

北米を中心に世界の多くの機関が参加している電子学位論文(ETD)のサイトです。OAI-PMHによってETD-MS形式でメタデータをNDLTDにハーベスティングしてもらうことにより、NDLTDから自機関リポジトリ上の学位論文が検索されます。



登録方法

1. 自機関リポジトリで学位論文のsetを作成し、そのメタデータをETD-MS形式で出力できるようにする。
2. NDLTD Union Catalog Projectにハーベスト依頼をする。

参考URL : <http://www.ndltd.org/join/ndltd-union-catalog-project>
: <http://goo.gl/FpSjL>

Westlaw Japan

法学研究に必要な法令、判例、書籍、論文などの情報を提供する法律情報の総合データベースです。判例の「評釈」論文名から、機関リポジトリで公開している論文へのリンクを提供しています。



登録方法

ウエストロー・ジャパン株式会社へ依頼する。
担当：伊藤様 Tel: 052-211-5725
連携の条件はなし（Westlaw Japan未契約機関でも可）
参考URL : <http://www.westlawjapan.com/>

RePEC

経済学に関するワーキングペーパーや雑誌論文などの情報を提供するデータベースです。機関リポジトリで使っているOAI-PMHには未対応のため（2011年7月現在）、メタデータをRePECが求める形式(rdfファイル)に変換する必要があります。



登録方法

1. RePECハンドルをもらう。
 2. ftpかhttpでアクセスできるようにサーバ設定を変更する。
 3. メタデータをRePECが求める形式(rdfファイル)に変換する。
 4. RePECに連絡する。
- 参考URL : <http://ideas.repec.org/stepbystep.html>
: <http://goo.gl/MQ755>

業績データベース

研究者の論文情報を提供している業績データベースと機関リポジトリをリンクさせることで、集客力の高い研究者の業績リストから機関リポジトリにある論文へ手軽にかつ連鎖的に利用者を導くことができます。



LEVEL 2

これもやっておくべき

特集 02

コンテンツ可視性向上計画

LEVEL 3

ここまでできればすばらしい

あたり前 になるとうれしい «りぽじとり» (紅葉)

あたり前 それが担当者の生きる道〜 ならせてみよう? なるまで待とう? (結丸)

キラ・コンテンツを望みて詠める

ああ欲しい! ノーベル賞級 コンテンツ (田原町)

欲しいですよねえ、看板コンテンツ! イグノーベルでもいいから (屁来吉)

朝読めば 訳せるかもと ウェブを閉じ (潮香)

やるやるやるー! とあちこちから声が聞こえそう^^ (檀)

あきらめも肝心のさ次に向け! (紫)

実はリポジトリ担当に必要な能力のトップ3に入るかもと思っています。 (檀)

〇〇件の記念登録を覚えて詠める

あと一件 キリ番登録 どれにする? (田原町)

あまり偏らないように、とか、できれば記念インタビューも頼めそうな先生に、とか、あれこれ思惑も浮かんで、悩ましくも楽しい雰囲気が伝わります。 (空豆)

あらためて リポジトリって 何ですか? (友蔵)

「悲しいとき〜」いつもここから。 (権造)

いやいや、そう聞かれたときこそチャンスと思ひましょう。 (結丸)

愛される イメキャラづくりに 四苦八苦 (友蔵)

四苦八苦するから、愛情もひとしおなのです。 (檀)

AMCoRは 太らせたい私はやせたい (黄連雀)

コンテンツは足で稼ぐもの。営業活動でリポジトリは太り、あなたはやがて痩せるでしょう(か)。 (屁来吉)

新しい複合機より古スキヤナ (潮香)

最近出番が減っていた古いスキヤナや年代物の裁断機が、意外にいい仕事してくれるんですね。 (空豆)

【番外】新しい研修なのに古講師 (潮香)

まだまだ、まだ終わらんよ〜。 (権造)

間が少しあいてしまうが、第9号(2010年10月)掲載の「だ」に続く、「あ」で始まる川柳じゃ。応募ありがとう〜。



次のお題は、ご想像どおり、
「ふ」で始まる川柳
雅号、ご所属お名前を添えて
gekkandrf@gmail.comまで。
お待ちしております

DRF 参加機関 紹介



↑よく見るとロゴ背景にうっすらと鳥が...



↑紀要はタイトル一覧ページに表紙画像が並んでいます

鹿児島大学リポジトリ

<http://ir.kagoshima-u.ac.jp/>

Q1. 担当課担当係と運営体制を教えてください

情報管理課学術コンテンツ係の係長、係員2名の計3名(いずれも兼任)で担当していますが、係員1名はよく欠員となります。学術コンテンツ係の担当業務は目録、リポジトリ、貴重書展示等です。

Q2. 導入システムは何ですか?

NTTデータの「NALIS-R」です。このサーバ上では鹿大リポジトリの他に鹿児島大学附属図書館コレクションの古典籍類のデータベースも動かしています。

Q3. 公開時の苦労話や秘蔵話、他機関と違った活動などをぜひ。

当初、当時の館長が学内への説明会など主導的に展開されたので、学内への一定の周知はできていたようです。しかし、当時はサブドメインは部局毎に割り当てていたため、「ir」というリポジトリのサブドメインを割り当てることさえすんなりとはいかなかったと聞いています。現在は、大学のトップページからもリンクされ、認知は進んでいると思います。

鹿児島大学は農学系の外国雑誌センター館にもなっているように高等農林学校時代からの伝統があるため、農学部の紀要である「学術報告(昭和27年〜)」と「Memoirs of the Faculty of

Agriculture, Kagoshima University (1952〜)」は第1号から全てリポジトリに登録しています。

また、「教育系・文系の九州地区国立大学間連携論文集」(査読あり)とも連携して掲載許可を頂いた鹿児島大学教員等の論文を登録しています。

Q4. 鹿児島大学リポジトリのチャームポイントは? (ここが気に入っているとあったところを)

ロゴマークの中をよく見ると羽ばたいている鳥がいます。鹿児島大学リポジトリのコンテンツが世界に羽ばたいていくようにとの当時の担当者の願いがひそかにこめられています。

紀要の表紙一覧と目次自動生成は、カスタマイズでも力を入れた部分です。

Q5. DRFに期待することは何ですか?

DRFの活動やメーリングリストは、鹿大のような地方の大学にとって、リポジトリの様々な情報に触れる最も重要な機会です。鹿児島県では「大学地域コンソーシアム鹿児島」内に地域共同リポジトリ事業部会を立ち上げ、今年度中の地域共同リポジトリ正式運用を目指していますので、ご支援よろしくお願い致します。DRFがこれからリポジトリに関する情報発信とリポジトリ支援機関として活動されることを希望します。

次号 予告

【特集】◆オープンアクセスって言い出したのは誰だ?!

かの「破壊的提案」を読み直します

◆あの人に聞きたい!

あの人に日ごろ疑問に思っているあれこれをぶつけちゃいます

編集後記

新しい研修体制の内容にドキドキしながらの作業でした。ご一緒にがんばりましょう(^ ^)

月刊DRFでは、みなさまからのお便りをお待ちしています。gekkandrf@gmail.com

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/gekkandrf/>

月刊DRF第19号 平成23年8月1日発行 デジタルリポジトリ連合